

市民ネットワーク所沢からのお知らせ

◆マイナンバー学習会

12月18日(金)午後2時～4時
生活クラブ所沢生活館にて
(美原町三丁目バス停前)
講師:所沢市役所 市民課職員
共催:所沢地域協議会
事前申込み不要・参加費無料



事務所お茶飲み会

12月25日(金)午後1時～3時
市民ネットワーク事務所
12月議会の報告もいたします。
相談もどうぞお気軽にいらして下さい



あとがき

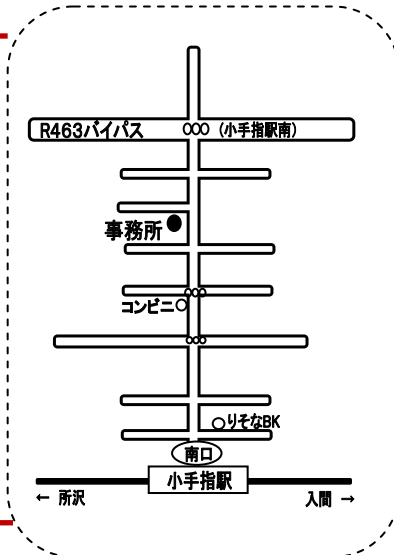
「職員がやっている手話学習会に参加しませんか？」とお誘いを受けました。夜6時半から市役所会議室で聾の方を講師に自主的に学んでいるのです。一般質問で手話推進を要望してきましたが、口先だけで他人にやれとばかり言えません。誘ってくれた課長は名札まで作って届けてくれました。
驚きました。若い職員から部長まで、本庁舎だけでなく保育園などの出先機関からも、数十名の参加者が三々五々集まってきます。先生の「夕御飯、食べまし

市民ネットワークの活動報告

9/26 市民自治学習会Ⅱ
視点を変えれば市政が変わる
「介護と地域コミュニティ3」
東洋大学 関賢二先生

福祉政策のモデル、寝たきりゼロと言われるスウェーデンは高負担高福祉。日本型は中負担中福祉。新たな高齢者福祉計画「地域包括ケアシステム」地方自治(市民自治)は commons の創生と言われている。commons とは自律した市民が相互に理解し協働して築き上げた良好な地域社会。

たか？」の質問に全員ノー。仕事を片づけ毎回参集するのは簡単ではありません。本当に頭が下がりました。
私自身は、秋に入って公務と重なり欠席が続き本当に恥ずかしい限りです。でも数回の講座でも TV の手話ニュースの「単語」がわかった時の嬉しさは忘れられません。あと残り数回。議会中の夜になりますが、できる限り参加します。(ミホコ)



【お問い合わせ・連絡先】

※常駐していません。留守電・FAX をお願いします。
●住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F
●電話・FAX 04-2947-6370
●メール prinmint@shore.ocn.ne.jp (末吉)
cnet-toko@net.email.ne.jp (事務所)
◆ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。
年会費 1,500 円 郵便振替口座 00160-6-179015
◆この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。
購読ご希望の方は定期的に郵送します。どうぞご連絡下さい。

市民ネットワーク <http://tokorozawa-net.com/>

NO. 77 (2015. 12)



発行:市民ネットワーク所沢 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B
TEL/FAX 04-2947-6370 メール:cnet-toko@net.email.ne.jp



全国1の高齢化スピード 所沢市での取組み

所沢市議会議員 末吉美帆子
(健康福祉常任委員・広聴広報委員)



埼玉県市民ネットワークは8月に埼玉県に質問状を提出しました。自然エネルギー・医学部新設・動物愛護・認知症対策事業の4点です。

全国一高齢化のスピードが早い埼玉県で、地域で誰もが自分らしくしあわせに暮らすための地域福祉の取組みは最重要課題です。

県からは「認知症は根本的治療は難しいが、薬で進行を遅らせ症状を改善することはできる。栄養改善・歯科口腔・運動・ひきこもり予防などの介護予防事業を進めている。早期発見で適切な医療・介護予防サービスを提供し症状を改善することが重要と考えている」との返答をいただきました。

また平成30年度を目途に「認知症初期集中支援チーム」を地域につくることを目指しています。地域包括支援センターや医療・介護など専門職からなるチームで専門医の指導のもと、認知症が疑われる人を訪問、観察、評価した上で自立生活サポート、家族支援を早期に行えることを目的とするものです。現在所沢医師会が進

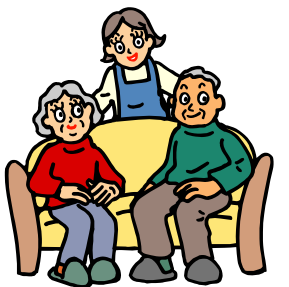
めるもの忘れ相談と連携が図れるよう、関係機関の協議を進めているそうです。

また、身近なかかりつけ医の相談に乗る「認知症サポート医」の養成が進んでいます。所沢市では今年1名の医師が研修参加しています。ベッドタウンの所沢市の高齢化スピードは埼玉県内でも早く、未来への不安感是否定できません。しかし備えていくことはできます。

県知事からも「今後も認知症の人、家族が安心して暮らせる環境を整備していく」との返答でした。

身近なかかりつけ医、介護医療職とともに、地域全体でこの課題を共有し支え合い助け合っていけるよう、さらに仕組みを構築し充実していきましょう。

(県からの返答全文は「末吉美帆子のブログ」で見ることができます)






末吉美帆子
平成 27 年9月議会
一般質問

- 所沢市の手話の取組みについて。
- 障害とはなにか、接し方を学ぶ「あいサポーター養成講座」をできないか。
- 小6、中3の学力テストで埼玉県が全教科で全国平均を下回ったことの対応について。
- 多重債務者のワンストップ型の相談を行えないか。
- 所沢市は子どもの貧困対策にどう取り組むのか。
- 小中学校の音楽専門教諭の配置は。


所沢市の手話の取組みについて。

⇒市内の聴覚障害者手帳所持者は 570 名。社会福祉協議会は手話奉仕員を設定しているほか養成講座を開催し、今年度は 143 名が参加した。市役所職員は初級研修で入門手話講座を行い、手話サークルもある。「手話できます」バッジを自主的に作成、庁内で声をかけるように努めている。手話コーラスなど啓発広報も進めたい。

 ミホコをつぶやき
手話言語条例のある北海道新得町を視察しました。所沢市には国立リハビリセンターで手話通訳士養成コースがあり、社会福祉協議会の活動にも多くの方が参加しています。できるなら条例を制定しさらに手話の裾野を広げてほしいと願っています。

障害とはなにか、接し方を学ぶ「あいサポーター養成講座」をできないか。

⇒調査研究を進めたい。


 ミホコをつぶやき
認知症サポーターと同様に障害を学び敷居を低くする取組みを是非進めてほしいと願っています。

小6、中3の学力テストで埼玉県が全教科で全国平均を下回った。所沢市の結果を公表しない根拠は？保護者や学校への周知は。また保護者からの所沢市への不安や危惧へどう対応するか。

⇒テストは学力の一側面であり数値の公表は序列化や競争につながると考え、26 年から一覧での公表は行わない。各科目を分析し、優れた点や課題を公開、指導改善に努めていく。


多重債務者のワンストップ型の相談を行えないか。

⇒消費生活センターの多重債務相談は 22～27 年まで 105→72→61→30→35 件と推移している。弁護士など専門家を紹介することもある。収税や福祉など多重債務者がいたら消費生活センターを紹介する。

 ミホコをつぶやき
多重債務者は滞納、就労など生活全般に渡る悩みを抱える方もいます。滋賀県野洲市では生活建て直しの視点から全体的相談に乗っています。現在の所沢市は違う窓口を紹介しますがフォローはありません。

貧困の連鎖について市はどんな認識を持っているのか。貧困は家庭内にあるため表面に現れづらい。足立区は組織の縦割りを越えて「子どもの貧困調査」を始めた。所沢市は子どもの貧困対策にどう取り組むのか。

⇒就学援助を受けた要保護児童(生活保護基準)・準要保護児童は 4270 人、17,08%。貧困調査は足立区の事例を参考にしたい。庁内関係各課や各会議で取り組んでいきたい。

 ミホコをつぶやき
働く貧困層や格差の増大など根本的な課題が社会に横たわっています。歪んだ社会構造の転換を目指すとともに、子ども達が明るい未来を夢見ることができる、能力を伸ばせる社会を作らなければと思います。

小中学校に音楽専門教諭を配置しているのか。

⇒全中学校に音楽専門資格教諭はいるが、小学校に音楽専科の教員採用はない。しかし合唱教室、親善音楽会など音楽教育は大切に取組んでいる。毎年全国大会に入賞するなど中学校合唱のレベルは高い。さらに音楽に親しむ教育環境を整備してほしい。

